【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公開番号】特開2006-39374(P2006-39374A)
【公開日】平成18年2月9日(2006.2.9)
【年通号数】公開・登録公報2006-006
【出願番号】特願2004-221722(P2004-221722)
【国際特許分類】
　Ｇ０２Ｂ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ｇ０２Ｂ　7/02　Ｚ
　Ｇ０２Ｂ　7/02　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成19年7月19日(2007.7.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　外装であり、かつ光軸方向に進退する導電材料からなる外装部材と、前記外装部材に一体的に取付けられた金属ピンと、前記金属ピンが係合するカム溝を有し非導電材料からなる固定鏡筒を備えたレンズ鏡筒において、前記固定鏡筒のカム溝には電気的に導通作用を有する導電性塗料が塗布され、前記外装部材は金属ピン及び導電性塗料を介して制御回路の安定電源部に電気的に接続されていることを特徴とするレンズ鏡筒。
【請求項２】
　外装かつ光軸周りに回動し、導電材料からなる外装部材と、前記外装部材に一体的に取付けられたギアと、前記ギアが噛合し、少なくともひとつは導電材料からなるギア列と、前記ギア列を介して前記外装部材を駆動する駆動源とを備えたレンズ鏡筒において、前記導電性材料からなるギアを回転自由に支持する金属製の軸を有し、前記外装部材は導電材料からなるギア及び軸を介して制御回路の安定電源部に電気的に接続されていることを特徴とするレンズ鏡筒。
【請求項３】
　請求項１または２に記載のレンズ鏡筒と、
　前記レンズ鏡筒が設けられたカメラ本体と
を有することを特徴とする光学装置。